

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	77	景観整備事業	会計	01	一般会計	
基本施策	29	伊賀市らしい景観を守り、活かす	款	02	総務費	
			項	01	総務管理費	
			目	06	企画費	
担当部課名	大山田支所 総務振興課			細目	102	地域振興経費
作成者氏名	池口 法行	連絡先	47 - 1150	細々目	03	景観整備事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	地域の住民	住民が主体的に地域の景観整備に取り組み、地域の実情に即したまちづくりが推進される。			
本年度事業内容	大山田地域づくり景観整備事業推進会議の開催 4回 シンポジウムの開催 1回 地域づくり景観整備事業補助金(交付地区 3) 下阿波地区 パイオトイレの新設、遊歩道路階段の整備 猿野地区 広場フェンスの整備、バス停留所の整備、展望台の整備、他 子延地区 水車水路新設、花壇改良、かえで橋周辺整備、他 常夜灯(いぶし瓦の鬼瓦)の維持				
開始年度	平成 4 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	支所関係補助金等交付要綱(大山田支所)

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員			
正規職員(人)	1	1	1
人件費合計(A)	7,200	7,200	7,200
支出内訳(千円)			
事業費(B)	10,190	705	705
委託料			
補助金	9,291		
その他	899	705	705
合計(A+B)	17,390	7,905	7,905
財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	17,390	7,905	7,905
上記 ~ に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
ふるさと創生基金活用事業(旧大山田村)	取組地区	3	廃止	廃止			
補助率	補助率%	80	廃止	廃止			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
シンポジウム参加者数	大山田地域で実施してきた事業であるが、伊賀市全域に地域づくりへの取り組みの啓発を行う。	人	目標	100	120
地域において地域づくりに参加する住民の数(～17年度事業)	事業助成は本年度で終了したが、地域での取り組みは引き続き行う。	参加率%	47.6	50	60
			目標		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

合併前の平成4年度から実施してきた、景観整備事業等補助金は17年度で取り止めとなった。 18年度からは、シンポジウムの講師謝金と常夜灯・サイン灯の維持管理のみとなり、景観整備の新たな取り組みは地元負担となった。 今後は、シンポジウムを開催し伊賀市全域を対象に、大山田で取り組んだ景観づくりの啓発やノウハウ等のソフト面での協力を進めていく。 「ゆめさき会」(旧推進会議メンバーを中心とする任意団体)が景観整備に取り組んでいくので、協力・連絡を続けていきたい。

評価	必要性	4	住民が主体的に地域の景観整備に取り組むことにより、風土を大切にする意識が向上した。 延べ20地区で取り組まれた。 個性ある景観づくりにより、来訪者に憩いを与えるとともに、地域美化や自然景観の保全に大きく貢献した。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		